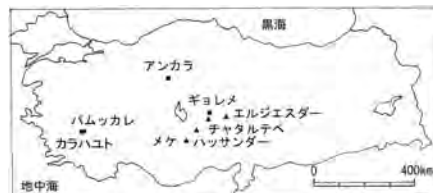


# トルコ中部アナトリアの火山と温泉

＜須藤 茂<sup>1)</sup>＞

トルコ中部のアナトリアには、カッパドキアの奇岩、多くの火山と温泉などがあり、世界中から観光客が訪れています。現地には火山に関する説明などはほとんどありませんので、ここに紹介します。より詳しい説明は別な機会に報告します。



位置図。

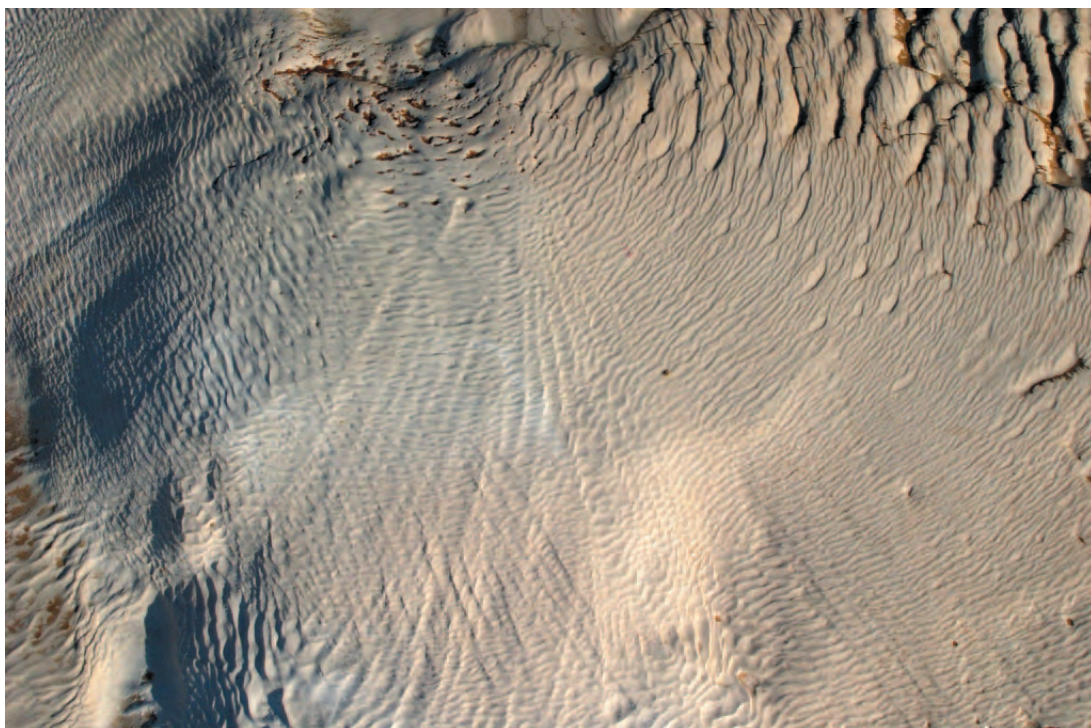


写真1 パムッカレの網状石灰華。

温泉は写真の上から下に流れる過程で網状になり、そのまま石灰華が付きまじり、写真の幅約50cm。



写真2 カラハユトの石灰華。

街の中心部、モスク前の広場に成長するようにセットされた噴泉塔で、温度は32℃でした。



写真3 パムッカレの石灰棚。  
温泉が流れているところはきれいですが、流れのない乾燥した部分も目に付くようになりました。



写真4 カップアドキアのきのこ岩。  
ギョレメ西方の谷に林立しています。成因を確定するのは難しそうです。



写真5 北から見たハッサンダー。  
右がハッサンダー(3,268m), 左がクチュク・ハッサンダー(3,069m), 複合成層火山です。



写真6 南から見たハッサンダー。  
新しい溶岩流の地形がよく保存されています。



写真7 南から見たエルジェスター(3,917m)。  
山頂部はよく浸食されており, 中腹には多数の側火山があります。



写真8 メケギョル。  
カラプナルの単成火山群のひとつで、径1,500mのマールの中に比高150mの火砕丘があります。



写真9 チャタルテペ、  
中央の火砕丘から手前に溶岩が流下しました。